

【令和7年度感染症対処訓練】

令和8年3月2日（月）、自衛隊札幌病院（病院長 菊池陸将）は、令和7年度感染症対処訓練を実施した。本訓練では、最近の感染症の動向の共有や新型インフルエンザに関わる業務継続計画の見直しを行うとともに、感染症対策器材の展示・説明、感染症患者受入れを想定した机上訓練を実施した。特に、業務継続計画の検証による課題や修正点の整理と、感染症対策器材の適切な取り扱いの習得を重視し、感染症対処基幹要員の対応力向上を図った。訓練は、院内感染対策幹部が中心となって進行し、感染対策用器材の説明では、衛生資材課による展示・説明が行われ、参加した職員は実際の器材を確認しながら理解を深め、積極的に取扱い訓練に参加する様子が見られた。また、机上訓練においては業務継続計画に基づき、感染症患者受入れを想定した対応要領について各部署の担当者の視点から建設的な意見が出されるとともに、不明な点の確認や修正点の案出が行われた。訓練の最後に病院長から、「感染症を取り巻く情勢は日々変化している。新型コロナ対応の教訓、地域性・能力を踏まえて、その変化に対応し続けていくことが重要である。」との講評があり、訓練をとおして職員一人ひとりが感染症対応要領の重要性を再認識する機会となった。

自衛隊札幌病院は、継続して訓練を実施し、今後いつ如何なる事態が起きても地域住民の皆様とともにある「心の通う信頼される病院」を目指していく。



机上訓練（担当間調整）



器材取扱い訓練



全般統制（院内感染対策幹部）



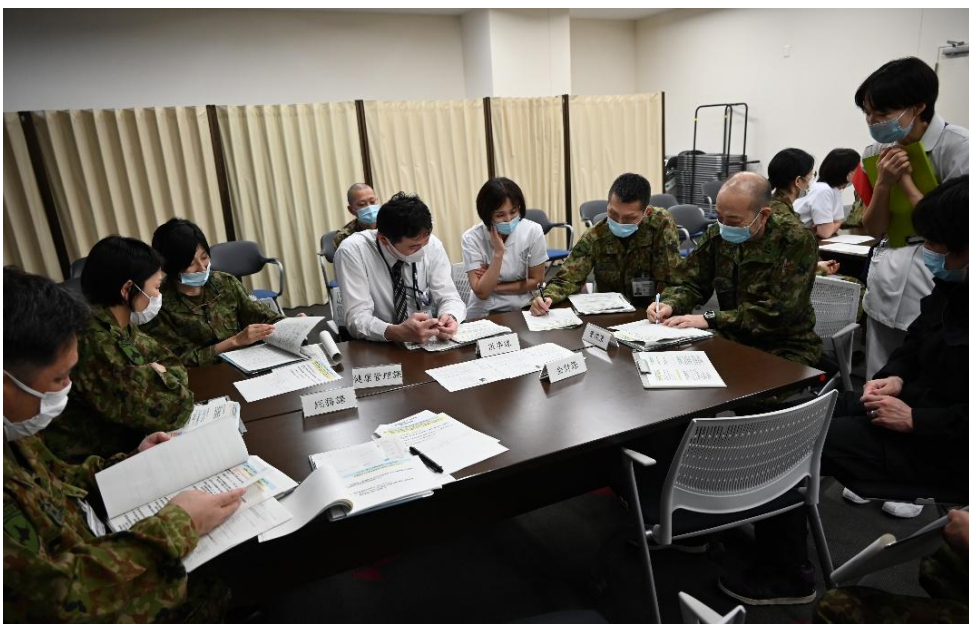
病院長講評



感染症対策器材展示・説明



机上訓練（課題案出）



机上訓練（課題案出）



机上訓練（BCPの検討）